

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2009年1～3月期)

第52回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成20年10～12月との比較）
  - （2）前年同期比（平成20年1～3月との比較）
  - （3）来期見通し（平成21年4～6月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	191社
回答率	38.2%

### (業種別)

製造業	70社
建設業	40社
卸売業	19社
小売業	24社
サービス業	38社
合計	191社

## (2) 実施時期

平成21年1～3月期

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )

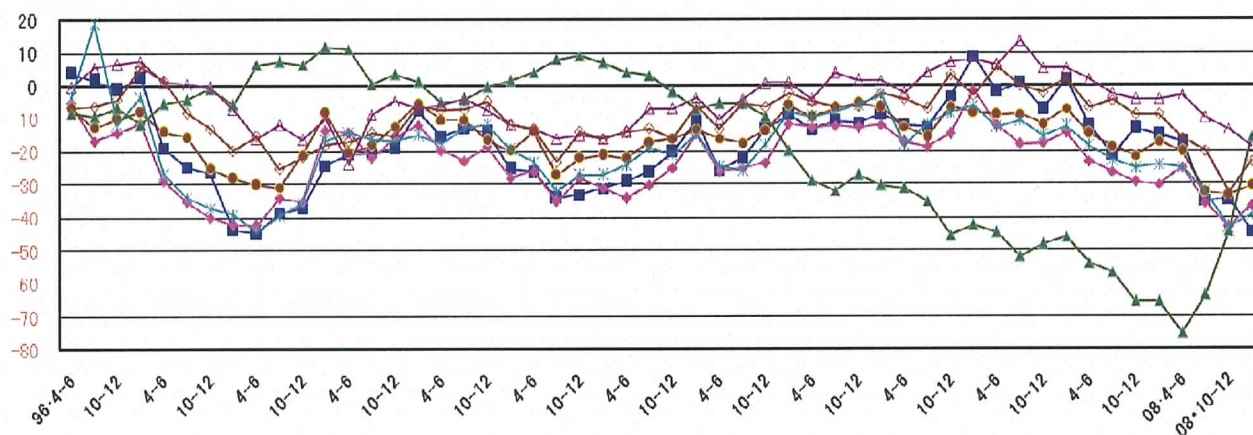
資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )

仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )

業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9	10-12	09/1-3
■売上	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1	-34.5	-44.4
◆採算	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8	-42.9	-36.4
●資金繰り	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5	-33.3	-30.6
▲仕入価格	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6	-44.3	-15.8
△雇用状況	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9	-13.5	-18.6
◇設備投資	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9	-32.6	-23.0
*業況	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5	-43.1	-39.3

### 3. 概況

#### 「仕入価格は安定するも需要悪化で業況は依然低迷」

##### (1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前年同期比で、「仕入価格」のマイナス幅が縮小し「売上」が悪化となった。前期比では「売上」、「採算」、「資金繰り」、「業況」の項目で悪化となった。仕入価格は安定してきているものの、昨年からの世界的な経済悪化に伴う需要の減少で、消費が低迷し、業況は全業種において依然として厳しい経営環境となっている模様。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、「仕入価格」はマイナス幅が縮小されたものの、その他の項目は横ばいとなっており依然厳しい数値となっている。

業種別では、製造業では取引先からの在庫調整一巡で回復期待の声はあるものの前年並みの受注は期待出来ず、建設業では設備投資の減少や受注競争の激化による売上・採算の悪化が懸念され、卸・小売・サービス業では、追加景気対策に期待が持たれるものの消費マインドの低迷による買い控えが不安視される。

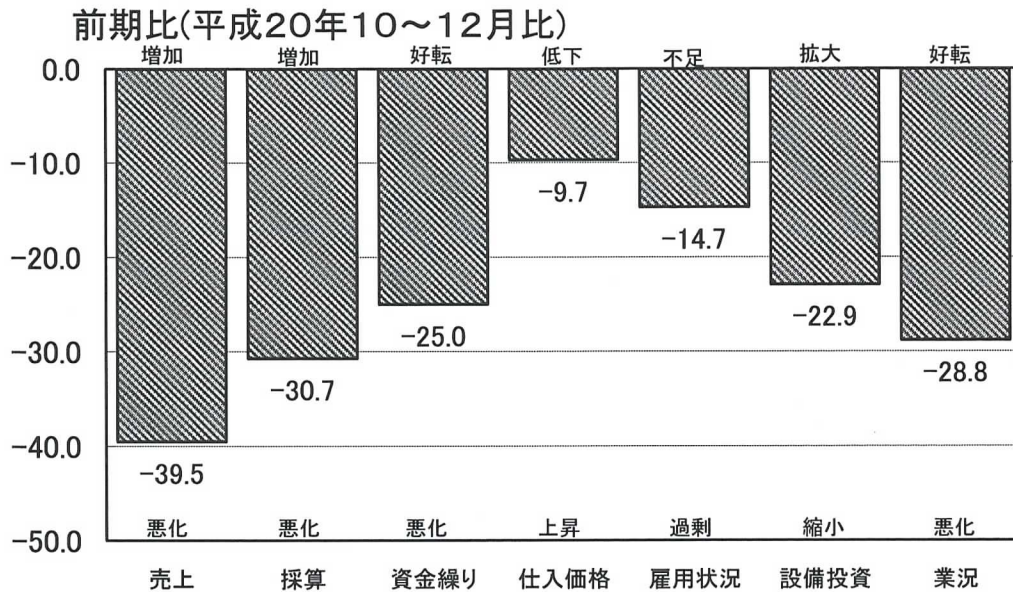
##### (3) 経営上の問題点

今回の上位順位は、前回調査と同様で、1位に「需要の停滞」、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位に「原材料（仕入単価）価格の上昇」と続いた。

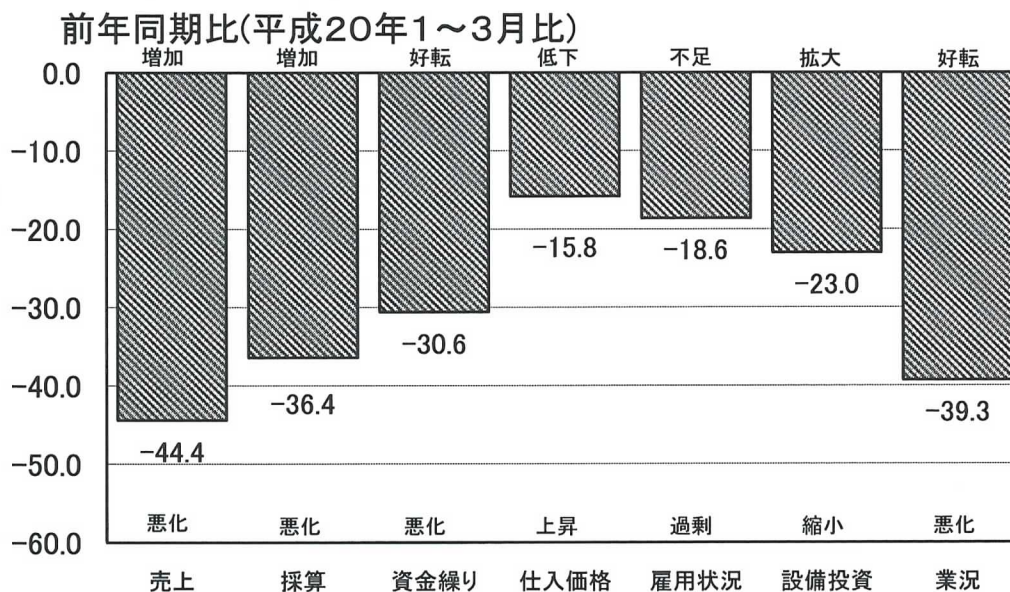
##### (4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回調査と同様で、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」となり、3位に「人件費を削減したい」と続いた。

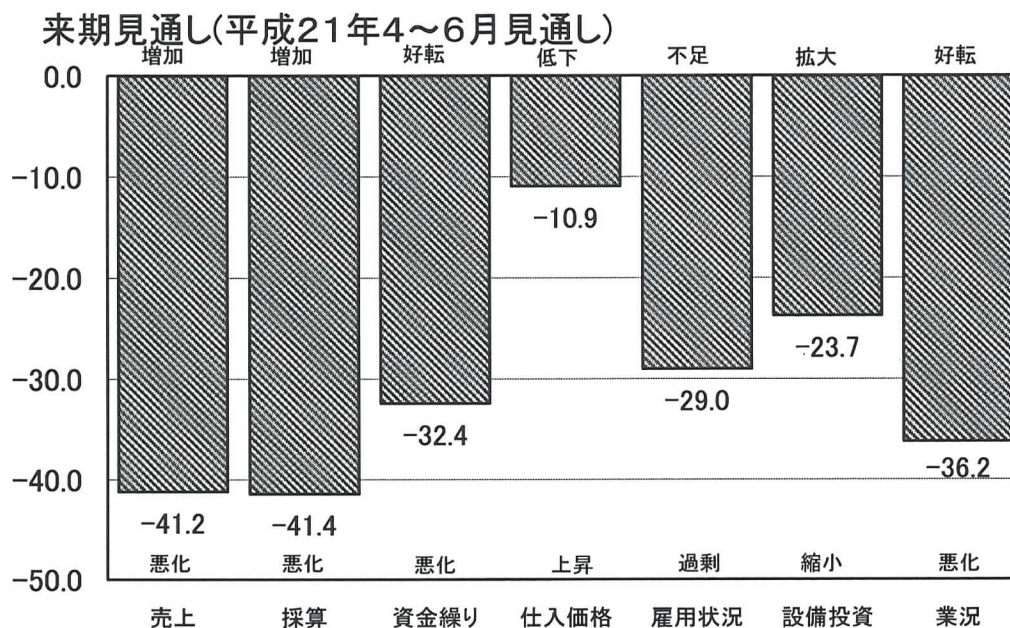
## 4. 県内の景気動向(全業種)



前期比DIは、前回調査と比較してほぼ横ばいとなったが、売上はマイナス幅が大幅に拡大した。世界的な経済悪化に伴う需要停滞による受注減少、消費低迷による買い控えなど全産業で厳しい状況となっている。



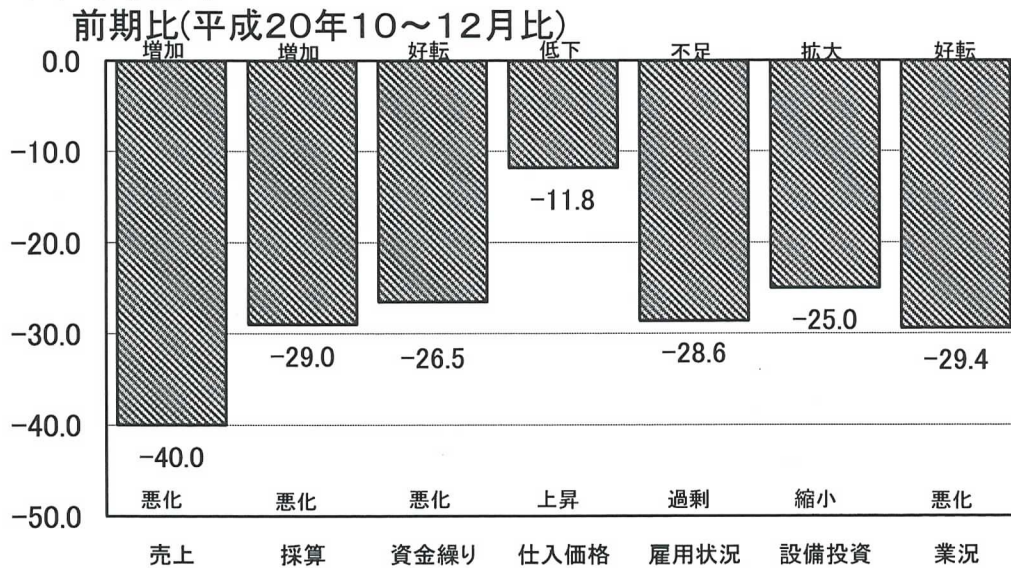
前年同期比DIは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいで推移した。仕入価格はマイナス幅が改善されたものの、経済悪化に伴う需要の低迷で売上・採算・業況は依然厳しい様相をみせている。



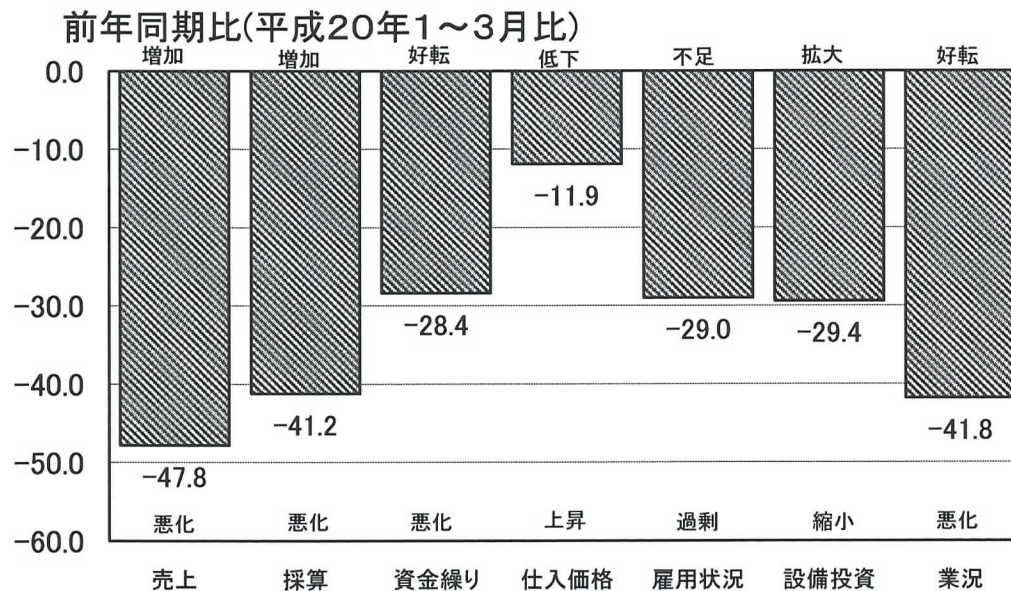
来期見通しDIは、前回調査と比較してマイナス幅はほぼ横ばいとなっている。政府の追加景気対策に期待が持たれるものの、世界的経済悪化に伴う需要の低迷、更には受注競争の激化等で業況好転の兆しは見えず、先行き見通しは依然厳しい状況となっている。

## 5. 業種別の景気動向

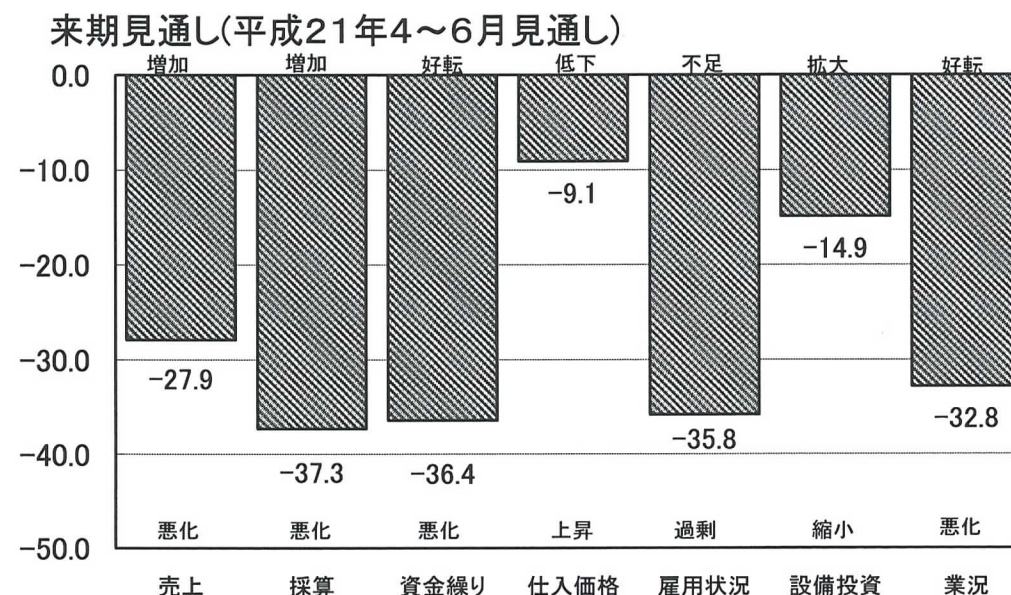
### (1) 製造業



前期比DIは、前回調査と比較して売上を除きマイナス幅がやや改善されたものの、世界経済の減速に伴う、家電や自動車関連等の売行き不振による受注低迷で、依然として厳しい状況が続いている。



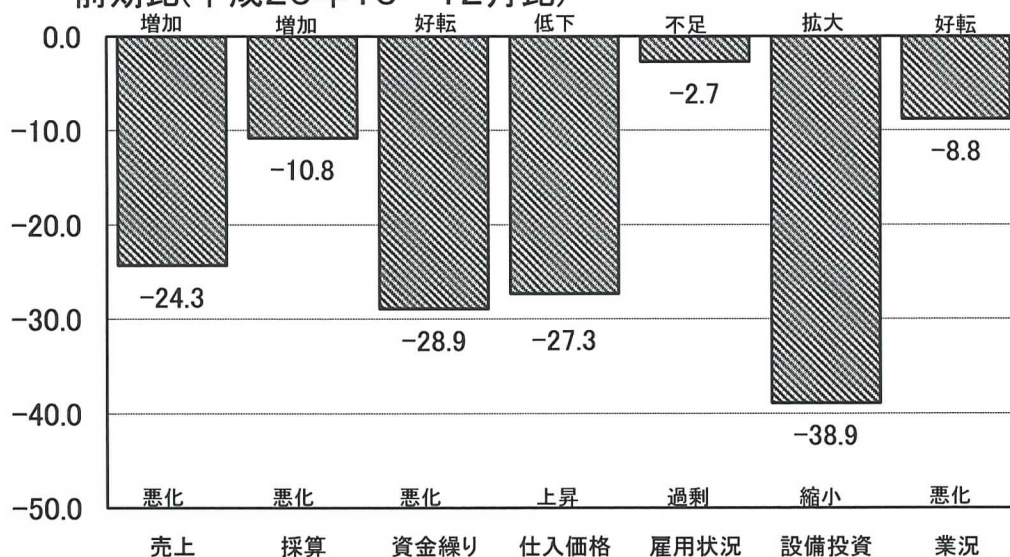
前年同期比DIは、前回調査と比較して、採算・仕入単価はマイナス幅が改善されたものの売上は更に悪化となっている。機械・自動車関連では、メーカーの在庫調整に伴う受注件数の減少、建設関連では公共工事の需要期ではあるものの競争激化で依然厳しい経営環境となっている。



来期見通しDIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともにややマイナス幅が改善された。取引先からの在庫調整が一巡し受注回復の期待の声が一部ではあるものの、世界経済低迷の中での売上・採算の好転は難しく引続き業績不振が懸念され、先行きが見えない状況である。

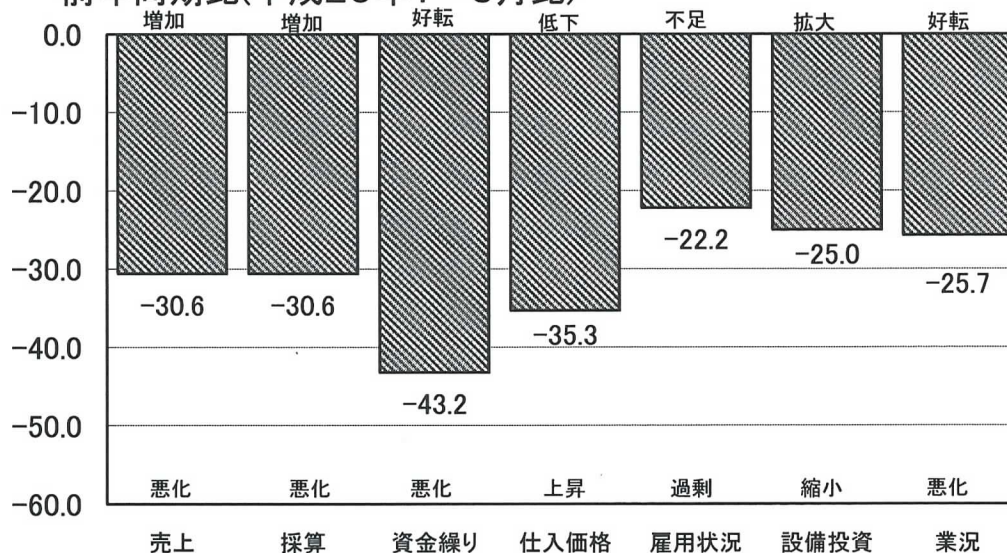
## (2) 建設業

前期比(平成20年10~12月比)



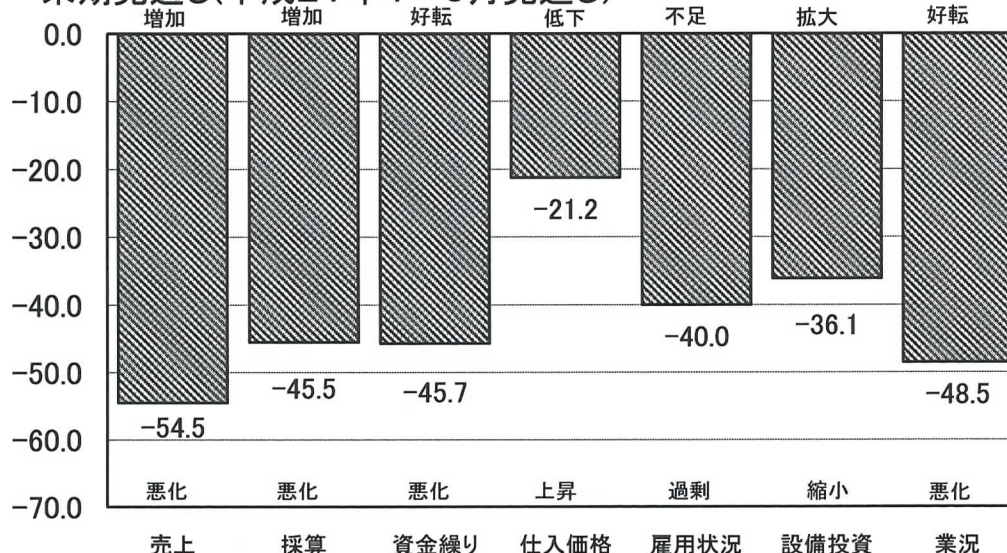
前期比DIは、前回調査と比較し、採算・業況はややマイナス幅が縮小されたが、売上は悪化幅が大幅に拡大した。公共工事が年度末の需要期であったものの、民間工事の減少と受注競争激化で依然厳しい状況である。

前年同期比(平成20年1~3月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して悪化となった。特に資金繰りの悪化幅は大きく、発注工事量の減少、それに伴う受注競争の激化による悪循環で、業界の経営環境は更に厳しい状況となっている。

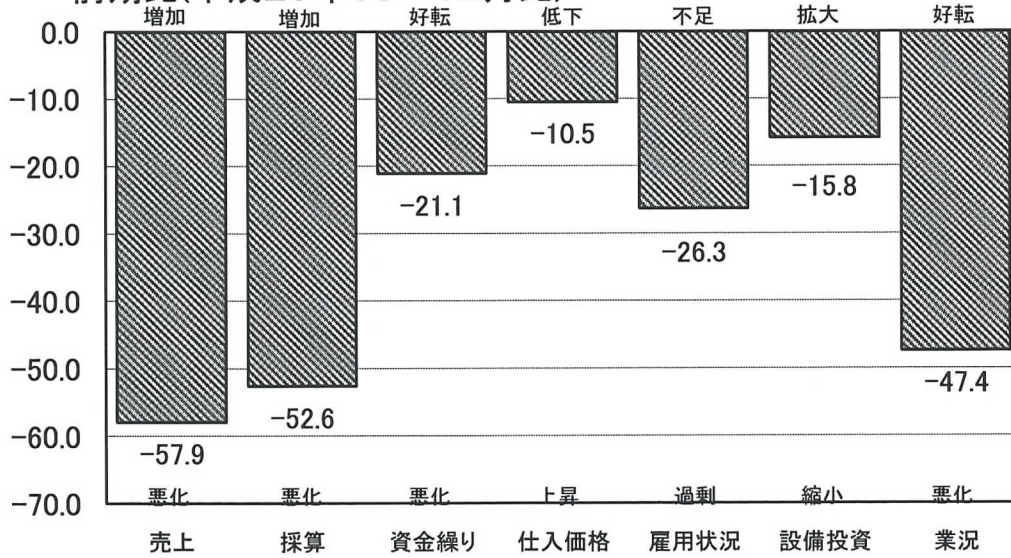
来期見通し(平成21年4~6月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。急激な需要の低迷に伴う設備投資の見直し等で、計画されていた工事が延期や中止され、受注の確保は難しく先行きは益々厳しい状況となっている。

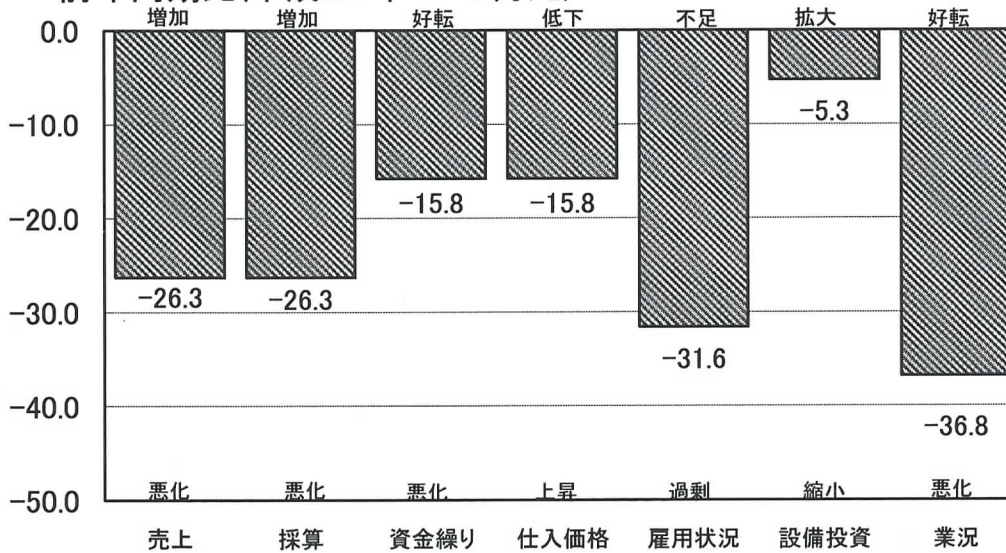
### (3) 卸売業

前期比(平成20年10~12月比)



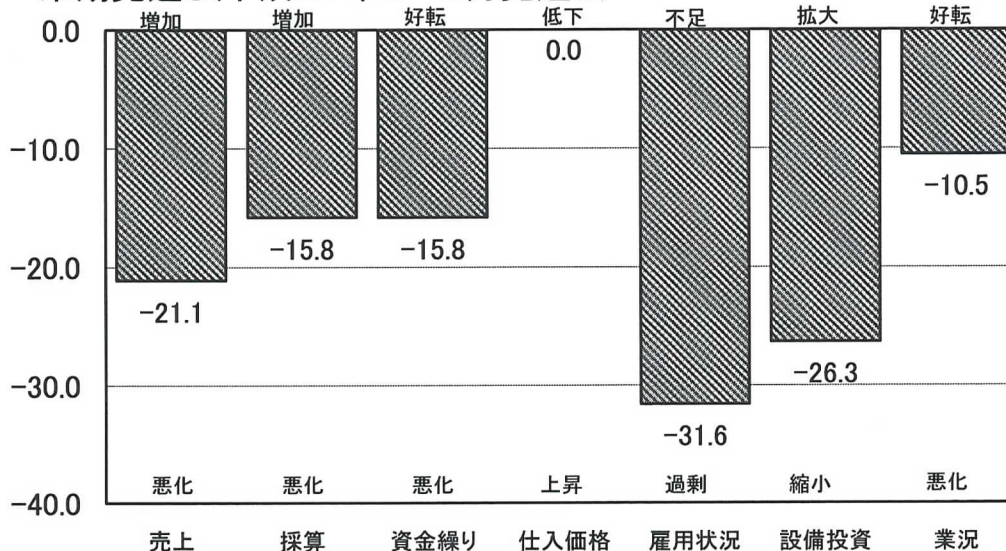
前期比DIは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともに大幅なマイナスとなった。建設関連では取引先の工事の減少、食品関連では年末需要の反動と経済悪化に伴う消費の低迷で経営環境は更に厳しい状況となっている。

前年同期比(平成20年1~3月比)



前年同期比DIは、前回調査と比べて売上・採算・業況ともに大幅なマイナスとなった。「年度末需要期であったものの消費低迷で伸び悩んだ」(文具関連)、「消費の買い控え」(包装材関連)などの声があり業況は依然厳しい状況となっている。

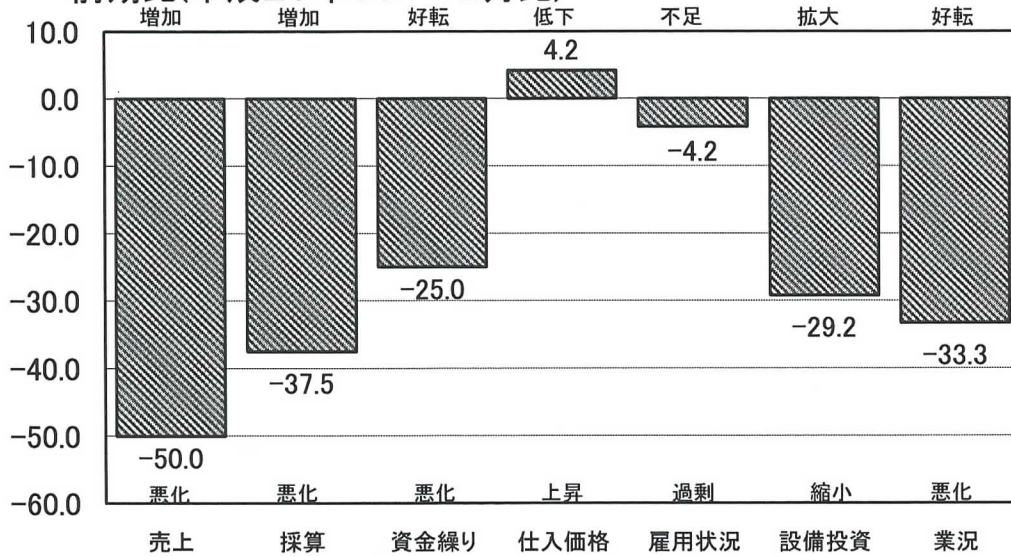
来期見通し(平成21年4~6月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して、採算・業況・資金繰りのマイナス幅がやや改善された。仕入価格の下落で資金繰りの改善が期待されるものの、消費低迷による需要の悪化は払拭出来ず、先行きは依然として不透明な状況となっている。

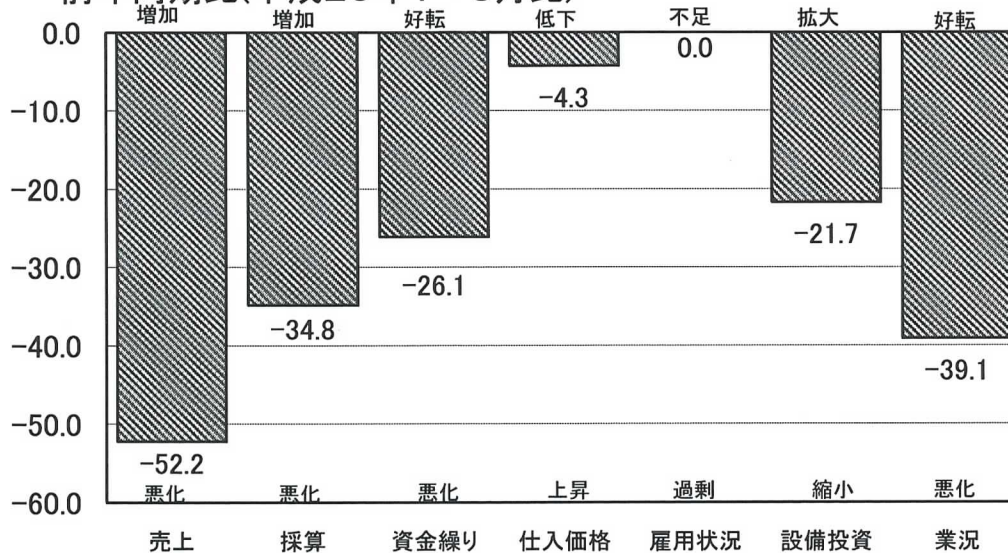
## (4) 小売業

### 前期比(平成20年10~12月比)



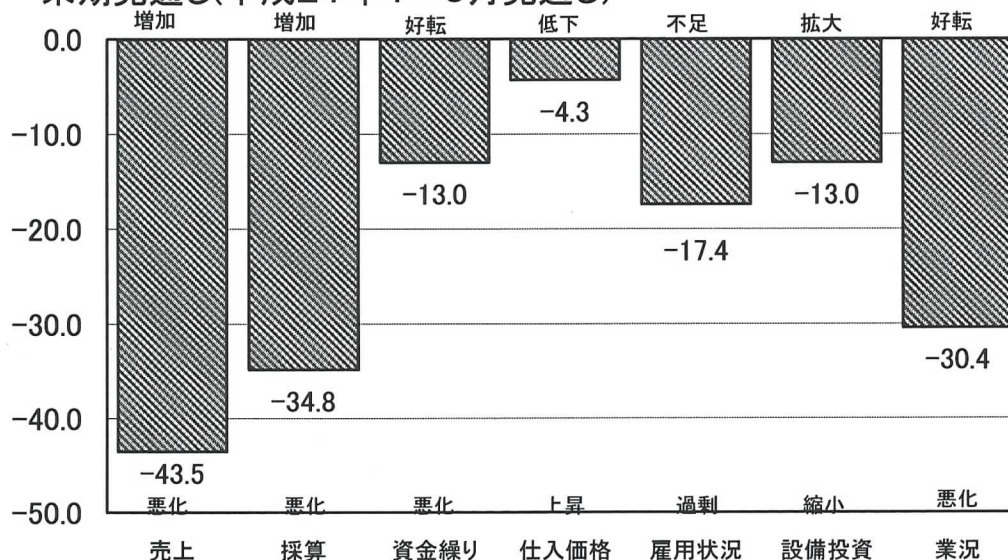
前期比DIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともに大幅な悪化となった。昨年秋からの経済悪化の影響による個人消費の買い控え、販売価格の低迷で業界を取り巻く経営環境は益々厳しい状況となっている。

### 前年同期比(平成20年1~3月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、採算・資金繰り・仕入価格・業況のマイナス幅はやや改善されたものの、売上は悪化となった。「小売価格は前年より下がったが売上数量は増えない」(ガソリンスタンド)など、仕入価格の減少に伴う販売価格の下落と消費低迷で、売上確保が厳しい状況となっている。

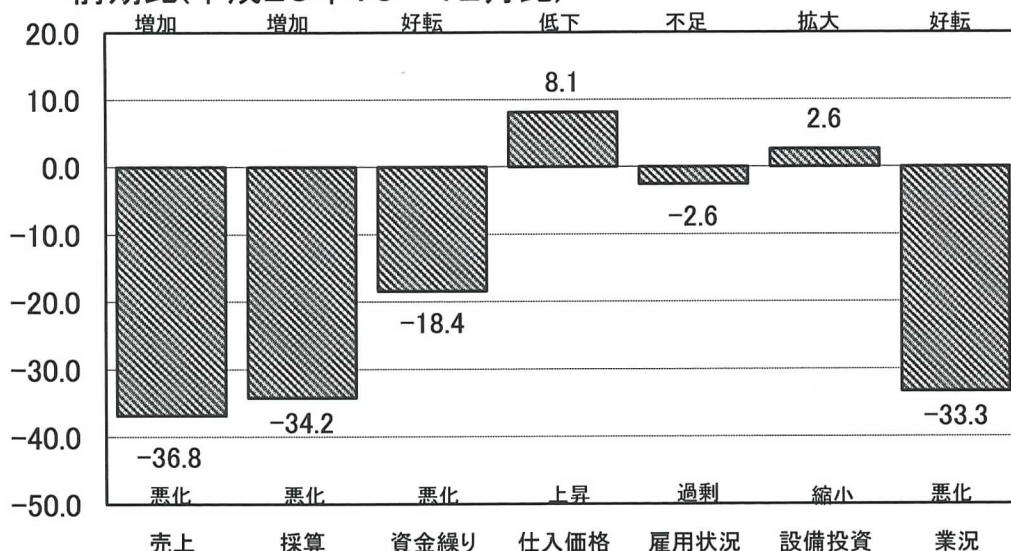
### 来期見通し(平成21年4~6月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較してマイナス幅がやや改善された。仕入価格の安定、追加景気対策等に期待が持たれるものの、消費マインドの低下に伴う買い控えが懸念され先行きは依然厳しい状況である。

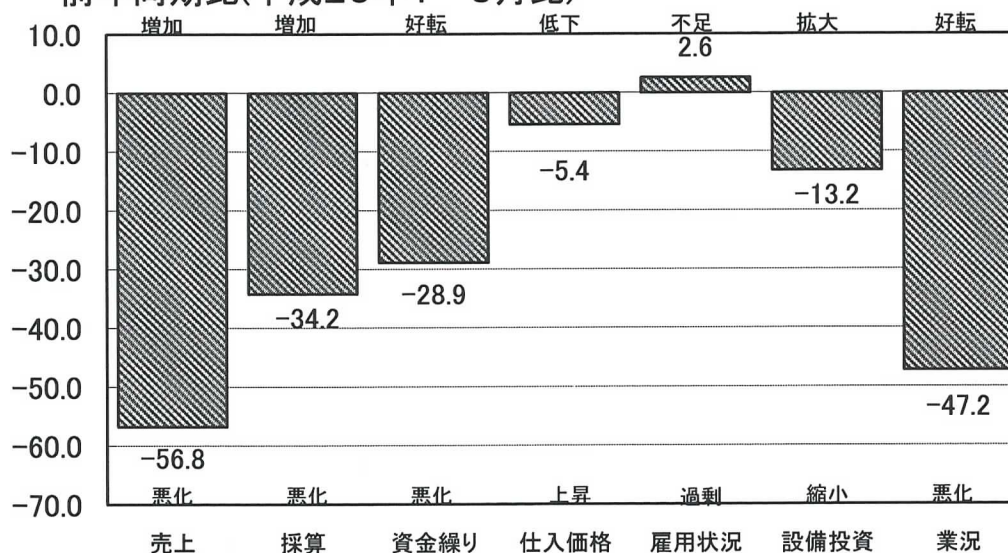
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

### 前期比(平成20年10~12月比)



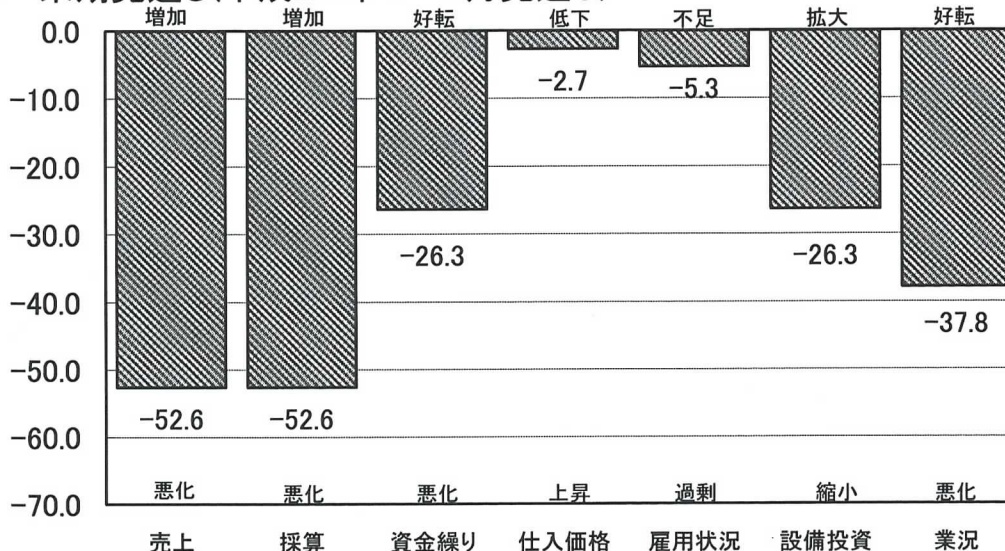
前期比DIは、前回調査と比較して、大幅にマイナス幅が拡大した。「宿泊人数が減少」(ホテル)、「広告主の広告費削減」(広告代理)など需要悪化の要因が多く、経営環境は益々厳しい状況となっている。

### 前年同期比(平成20年1~3月比)



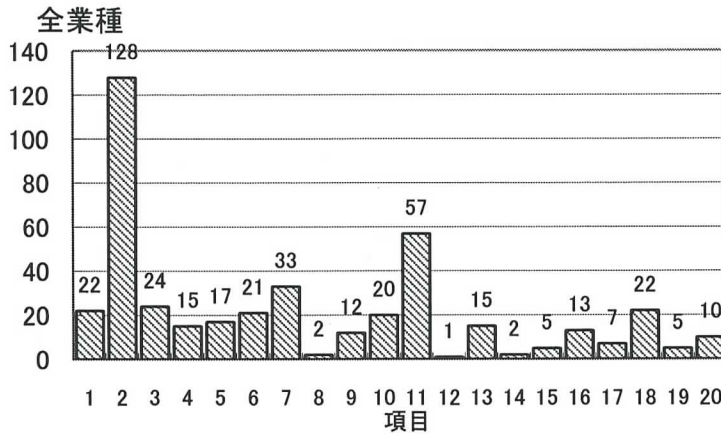
前年同月比DIは、前回調査と比較して、仕入価格はマイナス幅が改善されたが、売上はマイナス幅が拡大した。「円高による外国人の消費停滞」(貸室業)、「単価の減少」(美容婚)などの業況悪化の声が多く、依然厳しい状況となっている。

### 来期見通し(平成21年4~6月見通し)



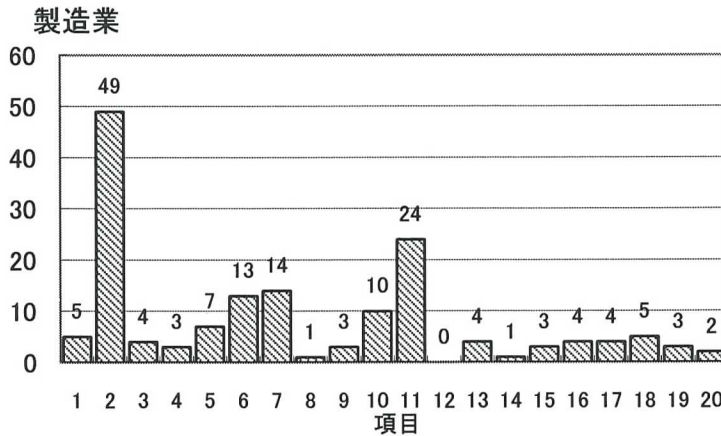
来期見通しDIは、前回調査と比較して売上・採算ともにマイナス幅が拡大している。世界的経済悪化による需要の停滞、更には、消費の買い控えによる売上減少で先行きは依然として厳しい見通しとなっている。

## 6. 経営上の問題点



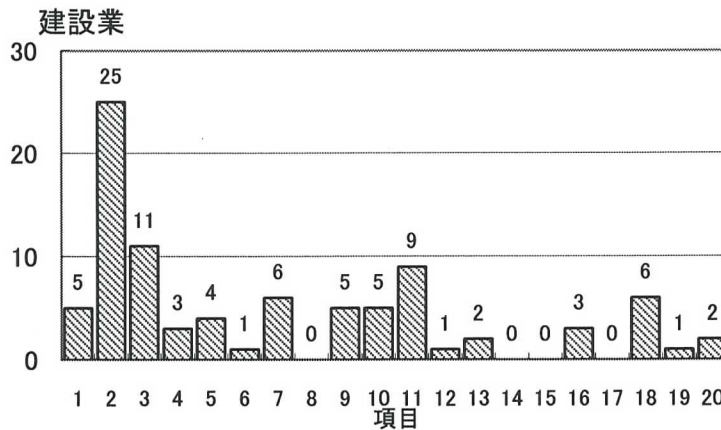
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 人件費の増加



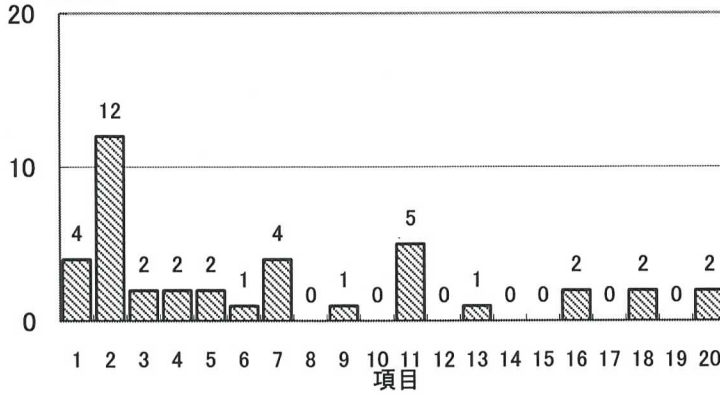
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 取引条件の悪化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

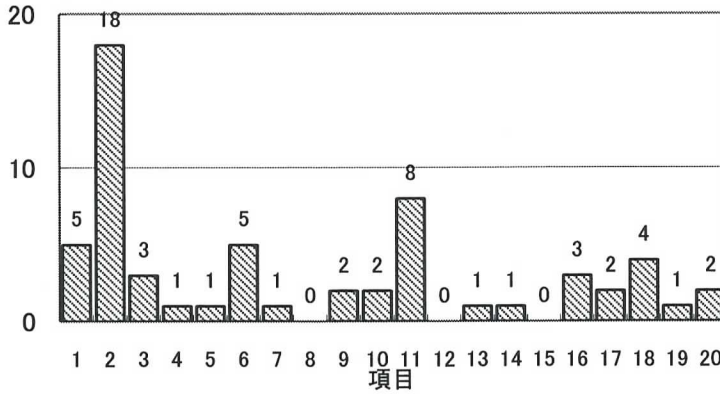
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

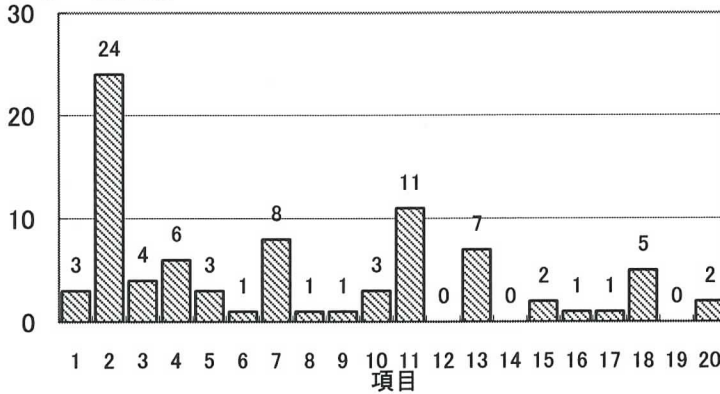
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 取引条件の悪化

### サービス業



#### 順位

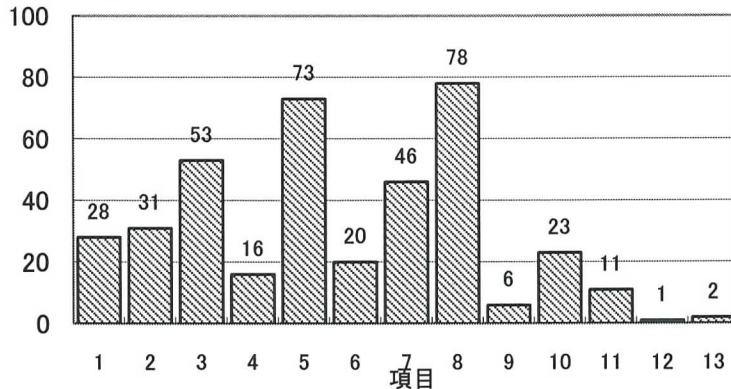
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 新規参入業者の増加

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

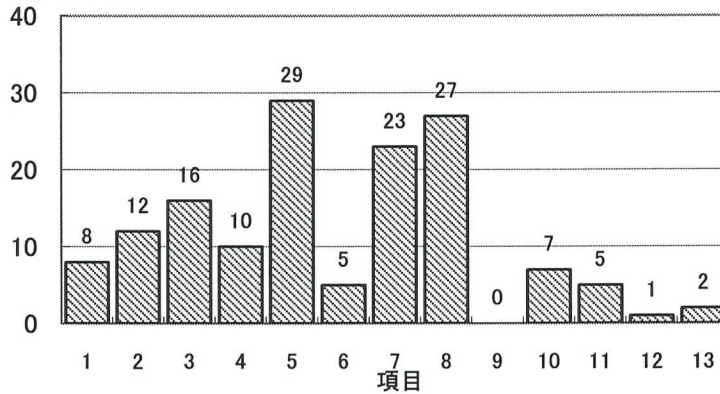
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

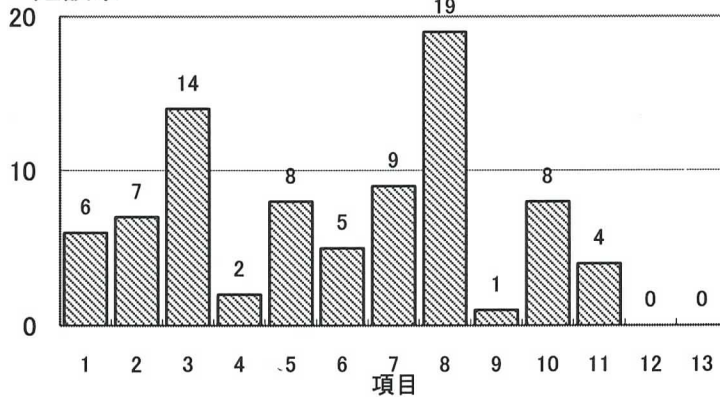
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 雇用調整を行いたい

建設業



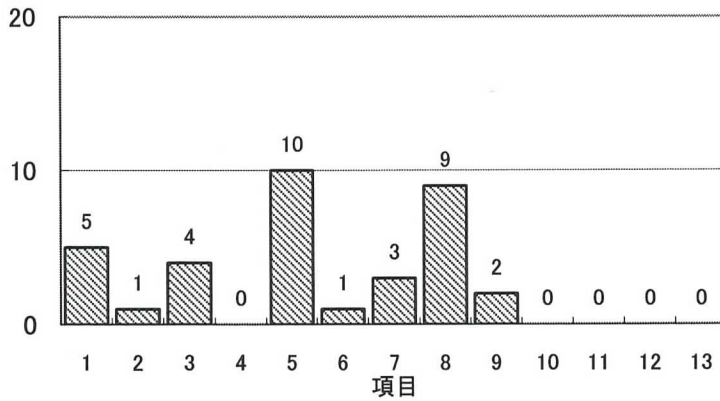
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

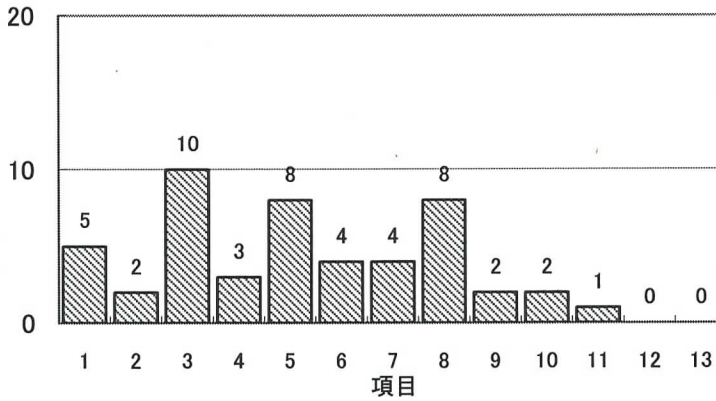
### 卸売業



#### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

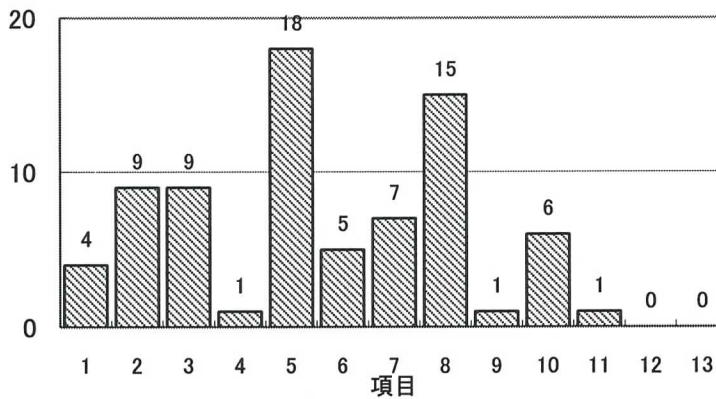
### 小売業



#### 順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 設備投資を縮小したい

### サービス業



#### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

### 項目一覧

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい                | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く)   |
| 3. 人件費を削減したい                  | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) | 7. 新製品の開発を行いたい        |
| 6. 設備投資を縮小したい                 | 9. 業種転換を行いたい          |
| 8. 新規市場を開拓したい                 | 11. 下請け発注を減らしたい       |
| 10. 経営の多角化を行いたい               | 13. 海外から原料・部品を調達したい   |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい              |                       |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	建築資材卸	都城	11月～3月にかけては県外のお客様も多いが、4月～9月にかけては少なくなる。特に6月～8月は、ほとんど県外客(九州外)が来ないので夏場の対策をお願いしたい。
製造業	鋼材加工販売	都城	・現状の景気低迷は今後3年間は続くと予想されるため、環境の変化に柔軟に対応する為にも業務や財務の「見える化」を図り健全な経営に努めてゆきたい6 世界的な不況から地方にも影響が出ており、国には20兆円規模の経済対策を望む3024
製造業	鉄工業	都城	工事物件の早期発注3028
製造業	印刷業	宮崎	地場産業の育成
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	経済対策
製造業	タイヤコード製造1	日向	国へ対して、税制改革による消費拡大。雇用調整助成金制度の継続及び緩和。県に対して、高速道の建設促進4042
製造業	自動車専用部品製造	日南	現在の業況で雇用を維持するのは非常に難しい。もっと助成金等の枠組みをゆるくして援助して欲しい。このままいったら雇用は守りきれない。6016
製造業	製材、集成材	日南	公共建築物に使用される木材を国産材指定とすべきである。建築基準法第4号特別法案を現行のまま残すべきである。ニーズ以上の建築法改正がありすぎて受付時に時間と金がかかりすぎる。
製造業	印刷	日南	合併に伴い仕事が減り、又 社会福祉協議会等市外の受注金額の低い業者に発注されています。是非、市内が活性化するよう改善を望みます。6100
製造業	コンクリート製品	日南	当社は県内外に13工場あるが日南串間地域の公共事業民間工事が極端に少なく日南工場の従業員もピーク時の半分に減っている状況。全体的には売上利益は減っていない。
製造業	各種印刷	小林	地元企業を育てる政策を積極的に行って欲しい。7005
製造業	焼酎製造販売	串間	地方企業として色々な面で全国へ支援宣伝を願いたい8018
製造業	倉庫業	西都	9
建設業	総合電気事業	都城	公共工事による入札価格の最低価格の見直し。一般競争入札制度が導入され、落札した工事が赤字となるケースが多い。
建設業	電気工事	宮崎	緊急景気対策の即時実施と、公共工事の前倒し発注および物件増を希望する。3051
建設業	建設業	宮崎	景気の下支え、追加経済対策56兆円は、地方の企業には金融支援のみに感じられます。子育て支援と住宅建築補助が末端までお金が行き渡るのではないのでしょうか。3015
建設業	建設業	宮崎	自力本願しかないと覚悟しています3006
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	公共投資による景気対策は批判もあるだろうが、産業の町では失業者が増え続ける。環境対策事業として河川の改修や森林整備等の事業で拡大してもらいたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	景気対策を直接景気が浮揚するような施策を望む。高齢者を雇用したら補助金を出すとか、給付金を支給するとかの手当施策でなく企業が活性する施策。企業が活性化し景気回復すれば雇用も増える。後手後手の手当てでなく積極的な景気浮揚策を。
建設業	管工事冷暖房設備	宮崎	一連の入札制度改革やめて欲しい
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	国や県からも今年度は補助事業が多く出されているようですが内容まではなかなか理解しづらいです。説明会などの開催を希望します。

建設業	建築工事業	宮崎	入札時における総合評価方式の市町村を含めた徹底を。最低制限価格の引き上げと入札予定価格の事後公表。工事検査、部分払を含む支払いの敏速化。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	国の施策は大企業本位であり工事が大幅に増えたとしても下請金額は赤字が多い。特に国発注は地元不利な条件が多く参入機会が少ない。
建設業	看板製作業	日向	ひたすら我慢ですが、今までと同じ割合で税等を納めていけません。税金の使い道、あり方、制度を大胆に見直す必要があると感じます。食料や工業製品等は、基本、国内で生産するべきです。貿易はあくまで、輸出の為に、余力の部部でやる、輸入に頼らなければいけない品目をわざわざ増やして、国内の産業を駄目にしてしまう体質に問題ありですね。4033
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	設備投資の拡大、落札価格の見直し5008
建設業	土木建設	日南	公共事業の年度始めの発注を多く願いたい6002
建設業	土木工事一式	串間	積極的な景気対策が望ましい8008
卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	定額給付金や子育て支援金など1年限りのことを実施しても何にもならない(小手先のこととしか思えない)。目まぐるしく変化する世界の中で日本の役割は何なのか、国の方向をどうしていくのかという長期ビジョンに立った政策実行を願いたいものです。
卸売業	椎茸卸	日向	問2の通り、何もありません。申しあげてもどうすることも出来ないでしょう。4015
卸売業	建築資材販売	日向	国も大胆な補正をおこなっています。今後期待を願うことしかありません。4070
卸売業	建築資材卸	日南	公共工事の発注が増える対策及び最低価格の引き上げをお願いしたい。6060
小売業	飼料販売	都城	海外の食材に依存しすぎているのでは。日本の農業を最守すべきだと思っています。
小売業	時計貴金属小売業	宮崎	短期資金の借り替えがスムーズに進まず貸しはがしに直面している。
小売業	自動車販売整備	宮崎	補正予算による自動車の買い換え対策は基本的には歓迎するが、環境対策に重きを置きすぎ景気刺激策の効果を減殺している。もっとシンプルに、例えばドイツのように買い換えに30万円補助と云ったようにしてほしい。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	インフラ整備の徹底を図ることが景気の向上に繋がると思われる。
小売業	総合食料品スーパー	日向	地産地消(商)をもっと推進し、地元企業の活性化にもっと取り組んでほしい。県外企業に押されて地元企業が衰退し、町の衰退が著しい。街がこわれてしまっているのが現状であり、再生も困難な状態である。4002
小売業	眼鏡小売	日向	①土木建築公共工事による災害対策(学校耐震化、水災対策等の優先順位づけ、バラマキはダメ)②延岡南道路無料化(事故、経済損失大きい)③細島港利便性向上・13mバース建設、関東(関西)便フェリー復活4011
小売業	ガソリンスタンド	日南	新規雇用の確保をしてもらい南郷町(日南市)の人口が増えなければ全ての産業に将来は厳しいと思われる。新日南市長のリーダーシップに期待している。6051
サービス業	貨物運送業	都城	物流の動きが停滞しており、早く予算の国会通過で経済活性化を図って欲しい82
サービス業	美容婚礼業	宮崎	国が発信する情報のすべてに希望が見えない。
サービス業	曳船事業ホトサービス	宮崎	場当たりのでなく根本的な景気浮揚策を実施して欲しい。
サービス業	飲食業	宮崎	高速道の工事を急ぐこと。イオンモールのおかげで市街地に来なくなった人、そして商店街のことをもっと考えること。
サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	環境問題CO2削減目的のエコ通勤促進。道路整備事業の促進。景気回復策、内需拡大。
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	住宅を買いいたいお客がいてもローンが通らなければ手の打ちようがない。あきらかにローンの審査が厳しくなっている。国策と金融が逆方向になっている。銀行の事情もわかるだけに国策に期待するしかない。

サービス業	運輸業	日向	世界的な不況により、物流業界全体が苦しい状況にある。特に県北地区は道路の整備が遅れている為、県外への輸送に関して客のニーズに対応しづらいので、早期の整備を望みたい。4028
サービス業	ホテル飲食	日向	昨年のアメリカのサブプライムローンの破綻が引き金となり、特に先進国の影響は莫大であり、生産・消費とも極めて負の連鎖を招いている。特に我々、サービス業は、人間が移動・流動が一つの要因であり、宮崎県北、日向市は、他市と比較して磐石さが否めない。今後、行楽のシーズンを迎え、安定期が予想される。しかし、市場が激化しており、景気回復が早まる期待を致す次第である。4050
サービス業	ホテル	日向	ホテル業は他の業種に比べて(たとえば、IT産業等)、大きな建物や工がないと営業がなりたたず、多額の固定資産税等がかかる。また、それらを維持していくのに、保守料金やメンテナンス料がかかり、経営を圧迫する。業種により税率を変えるなどして、この不平等をなくしてほしい。4064
サービス業	飲食業	日向	経済の不況が長引き、消費者の生活のあり方自体が変化しているように思う。これから先も必要とされる。会社であり続ける為の努力が必要か。4044
サービス業	レストラン	高鍋	普通の会社(有限、株式)であれば、トップが悪しき事をすれば解雇や退職するのに、国家公務員が国民に多大な迷惑をかけても(厚労省、総務省)誰一人責任をとらないし、うやむやにして終わっている。真面目に働いて税金を納めている国民を愚ろうしている。正直者が馬鹿を見る世の中でよいでしょうか。働く人々の事を真剣に考えてほしい。5014
サービス業	運輸サービス	高鍋	全体的に不景気なので嘆いていてもしょうがない。国の景気対策に期待したい処ですが根本的な対策とはなりえないと思います。税金対策等、建築業界の活性化させる施策を望みます。3026
サービス業	クリーニング業	高鍋	先の見通しが全く立たない。公共工事を早急に実施対策を願いたい3056
サービス業	社会保険労務士	小林	あらゆる国の助成策を使い顧客の応援を行うためには助成策の拡充を願いたい7013